

## 令和2年度後期入学式 式辞

夙川を吹く風に秋の訪れを感じる今日の佳き日、PTA会長様並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに兵庫県立西宮香風高等学校、令和2年度後期入学式を挙行できますことは、本校にとって、この上もない喜びです。

先ほど入学を許可しました14名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。教職員並びに生徒を代表して、心からお祝いを申し上げます。

本校は平成13年に、全国でも最先端の多部制単位制高等学校として誕生しました。桜の名所である夙川の河口に広がる香櫨園浜の風が「香る」西宮の地から、多部制単位制という弾力的な教育課程を生かした新しい学びの「風」が広がることを期待して、「西宮香風」と命名されました。今年はその創立から20年目を迎え、すでに2,793名に及ぶ卒業生が社会に巣立っています。みなさんもこの「香る風」を全身で感じながら、自らの未来を切り拓いてくれることを期待しています。

本日から、西宮香風高校の一員となるみなさんに、是非、大切にしたいことが3つあります。

1つめは、「生命(いのち)」を大切にすることです。この世に生きとし生けるものがそれぞれ持っている生命は、たった1つのかげがえのないものです。どうか「生ること」「生きていること」、そして「生かされていること」を忘れずに、毎日を過ごしてください。

2つめは「今という時間」を大切にしたいということです。時間というものは、あっという間に過ぎてしまいます。そして、「今」という瞬間は、生涯でただ一度きりで、1秒前はすでに過去です。

みなさんが、今日から始まる高校生活を充実したものとするために、「今という時間」を大切に、一日一日を送ってください。

3つめは「西宮香風高校という場所」を大切にしたいということです。学校は「学びの場」であると同時に、「出会いの場」であり、「挑戦する場」でもあります。香風高校には、「ちょっと助けて」と声を上げれば、だれかがすぐに駆けつけてくれる温かな雰囲気があります。困ったら教えてもらう、手伝ってもらうことが、何の遠慮もなく当たり前のようにできる学校です。みなさんが失敗したり、壁にぶつかったりした時には、一緒に考えてくれる先生方がいます。そっと側に寄り添ってくれる友人も、やがてできるでしょう。どうか安心して、本校で新たな挑戦の第一歩を踏みだしてください。

過去を変えることはできませんが、未来は創り出すことができます。本日、お話しした、「生命」「今という時間」「西宮香風高校という場所」の3つを大切に、自分らしい高校生活を創り上げてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日より大切なお子様をお預かりいたします。卒業時には本校に入学させてよかったと喜んでいただけるよう、教職員一同、全力をあげてお子様の教育に取り組む所存でございます。教育は家庭と学校が連携してこそ実を結ぶものです。どうか本校教育活動に対するご理解ご協力、そしてご支援を賜りますようお願いいたします。

本日、入学されたみなさん全員が本校で充実した日々を過ごされ、人として 確かな成長を遂げられますことを祈念して式辞とします。

令和2年10月1日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子